

平成28年度学力検査（A日程）出題の方針

中学校学習指導要領にそって、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

出題にあたっては、次のとおりとする。

- (1) 中学校における日常の学習活動に基づく内容とする。
- (2) 各教科においては、一部の領域に偏らないようにする。
- (3) 検査時間等を考慮し、適切な問題量とする。

各教科の出題のねらい

国 語

- 1 「書くこと」、「読むこと」の2領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な知識・理解と、国語を適切に表現し正確に理解する力をみることをねらいとした。
- 2 「書くこと」については、文章の展開に即して内容をとらえたり、文章の内容について自分の考えをもったりしたうえで、目的や必要に応じて適切に書き表す力をみるものとした。
- 3 「読むこと」については、文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、文章の展開に即して内容を正確に理解する力をみるものとした。
- 4 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、漢字の読み書き、書写、表現の技法、文法の基礎的な事項や古文の仮名遣いなどについての力をみるものとした。

社 会

- 1 「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、社会的事象について、基礎的・基本的な知識・理解と、資料などに基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や適切に表現する力をみることをねらいとした。
- 2 「地理的分野」については、地理的事象を地図や資料との関係において出題し、世界と日本の地域構成、自然環境や産業などからみた地域的特色などについて問うものとした。
- 3 「歴史的分野」については、歴史的事象を年表や資料との関係において出題し、各時代の特色と移り変わり、我が国と世界の歴史上の関連などについて問うものとした。
- 4 「公民的分野」については、現代の社会的事象を資料との関係において出題し、政治のしくみ、財政政策、日本国憲法と人権などについて問うものとした。

数 学

- 1 「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域について、基礎的な概念や原理・法則の理解と、それらに基づき、数学的に考察したり、表現したり、処理したりする力をみることをねらいとした。
- 2 「数と式」では、数の概念についての理解の程度、文字を用いた式を処理したり、文字を用いて式に表現したりする力、目的に応じて式を変形する力をみるものとした。
- 3 「図形」では、平面図形や空間図形についての理解の程度、見通しをもって論理的に考察し表現する力をみるものとした。
- 4 「関数」では、グラフの特徴についての理解の程度、関数関係を見だし表現する力、関数と図形を関連付けて考察する力をみるものとした。
- 5 「資料の活用」では、代表値についての理解の程度、具体的な事柄について起こり得る場合を順序よく整理して正しく数え上げ、確率を用いて考察し表現する力をみるものとした。

理 科

- 1 「第1分野」、「第2分野」から均等に出題し、自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識・理解と、観察・実験などを通して科学的に考察したり、適切に表現したりする力をみることをねらいとした。
- 2 「第1分野」については、エネルギー、力学的エネルギー、電流と磁界、物質の分解、化学変化と電池などについて問うものとした。
- 3 「第2分野」については、細胞と生物、生物の観察、火山活動と火成岩、月の運動と見え方などについて問うものとした。

英 語

- 1 「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3領域について、基礎的・基本的な知識・理解と、英語によるコミュニケーション能力をみることをねらいとした。
- 2 「聞くこと」については、放送される初歩的な英語を聞き、その概要や要点を把握する力と問いなどに適切に応答する力をみるものとした。
- 3 「読むこと」については、まとまりのある英文を読んで、その内容を理解し、概要や要点を的確に読み取る力をみるものとした。
- 4 「書くこと」については、基本的な語を正しく書く力、初歩的な英語を用いて伝えたいことを正しく表現する力、考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く力をみるものとした。